



かしこく やさしく たくましく 地域とともに

栃木中央小だより

学校評価
特別号

文責 校長 平野 宗

全力 吾くん



学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました

昨年11月の学校評価では、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。各項目の評価ばかりでなく、学校経営についての貴重なご意見を伺うことができました。

同じく実施した児童アンケート、教職員の自己評価アンケート結果や学校運営協議会委員による学校関係者評価の結果をもとに、本年度の成果と課題をまとめましたのでお知らせいたします。



<学校評価アンケートの結果から>

- ・ 項目の★は、栃木西中ブロック小中一貫教育重点目標に関わる項目、項目の◇は、教職員のみの項目です。
- ・ 数値は、A（そのとおりだと思う）B（ややそう思う）の合計の割合（％）です。

No.	評価項目	肯定的な割合（％）		
		児童	保護者	教職員
1	学校教育目標の理解と達成への取組	89.2	93.0	100.0
2	★分かる・できる・楽しい授業の実践	87.1	91.4	97.4
3	家庭学習の充実（学習習慣の形成）	72.4	87.6	92.3
4	授業でのICTの効果的な活用	93.9	83.5	94.9
5	安心できる学年・学級経営の充実	94.9	89.2	92.3
6	いじめ・不登校の未然防止（教育相談）	79.8	81.1	100.0
7	★あいさつ・返事・正しい言葉遣い	87.7	87.0	94.9
8	楽しく運動量のある体育授業	80.4	93.2	97.4
9	アシストネット（ボランティア）の活用	90.4	88.4	94.9
10	学校からの情報発信（各種たより・HP）	81.0	92.2	100.0
11	◇誠実・適切な対応（信頼される学校づくり）			100.0
12	◇協働意識の高揚（教職員の同僚性）			100.0

【いただいたご意見から（多かったもの）】

- 子どもたちが楽しく自主性を育てていける学校だとよいなと期待しています。
- 担任の先生だけでなく、全体の先生方が子どもを見守ってもらっている安心感があります。
- 子どものよいところをどんどん伸ばせるような言葉をかけてほしいと思います。
- タブレット端末の活用をもっと進め、その様子がわかるとよいと思います。
- もっと自分からあいさつができるように指導をお願いします。
- 子どもたちが安心して生活できるように相談できる環境づくりや人間関係づくりの指導をお願いします。
- プリント配付物のペーパーレス化はよい試みですが、子どもと確認するものは紙媒体での配付をお願いしたいものがあります。



＜学校関係者評価の結果から＞



【学校運営協議会での熟議】

- ◇ アンケート結果から、先生方が子どもたちや様々な課題に頑張っていることがよくわかる。
- ◇ 学習指導と児童指導を充実させるためには、先生方が子どもたちと向き合う時間の確保、児童を理解する力の育成が必要だと思う。
- ◇ 授業を参観すると、ＩＣＴ機器が教育のツールとして自然に活用されていることがわかった。
- ◇ 「いじめ・不登校の未然防止」に関しては、子どもたちの求めている「安心して相談できる」環境づくりが重要だと思う。
- ◇ 保護者の意見にあったように、ペーパーレスにするだけでなく、子どもと共有してほしいものは紙媒体にするとよい。



＜本年度の成果と課題のまとめ＞

＜成果について＞

- ☆ 「学校教育目標の理解と達成への取組」と「安心できる学年・学級経営の充実」については、児童、保護者、教職員ともに高評価だった。「かしこく やさしく たくましく 地域とともに」の教育目標を念頭に置きながら学年・学級経営を丁寧に進めてきた成果と考えます。
- ☆ 「分かる・できる・楽しい授業」については、「アシストネット（ボランティア）の活用」を含め教育活動が充実してきている成果と考えます。

＜課題について＞

- ☆ 「家庭学習の充実（学習習慣の形成）」については、課題の出し方を工夫し改善に努めます。
- ☆ 「いじめ・不登校の未然防止（教育相談）」については、教職員から保護者への丁寧な説明が不可欠です。子どもたちや保護者の声に耳を傾け相談しやすい雰囲気や体制をつくることで信頼関係の構築に努めます。
- ☆ 「授業でのＩＣＴの効果的な活用」については、積極的に活用している様子をホームページ等により知らせていきます。
- ☆ 「あいさつ・返事・正しい言葉遣い」については、小中一貫教育の重点目標でもあり、引き続き指導を強化していきます。



＜次年度の学校経営の改善について＞

以下の６点については、次年度の学校経営の重点的な取組に位置付けるなどして、全教職員一丸となって取り組んでまいります。

- （１）放課後の時間を活用し、学習指導と児童指導の充実に取り組みます。

- ◇ 月・金曜日の放課後は、授業改善や学級経営の工夫に取り組みます。
- ◇ 火曜日、木曜日の放課後は、面談を希望する児童・保護者の対応を優先します。



- （２）朝の活動や授業に役立つような「やってよかった」「面白い」という実感のある家庭学習の課題を工夫します。
- （３）誰もが安心できる学級にするために、互いのよさや違いを生かし合う学業指導による「学びに向かう集団づくり」に取り組みます。
- （４）タブレット端末等ＩＣＴを積極的に活用し、その様子をホームページや学年だより等でお知らせします。
- （５）「あいさつ」をはじめとした基本的な生活習慣の指導を強化するとともに、実践の場である家庭・地域との連携を図ります。
- （６）学校からの情報発信では、ペーパーレス化だけでなく、家庭で保護者と児童が話題を共有してほしい場合は紙媒体での配付も検討します。